

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15026

中間処理事業（焼却処理・破碎処理等）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市循環型社会形成推進地域計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	青岸清掃センター	前口 政明	428-4153
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	関連課	一般廃棄物課・収集センター		

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	一般廃棄物の焼却と再資源化を図り、適正に処理を行う。		この中間処理事業（主に焼却処理）は、和歌山市内から出る一般廃棄物などを受入・計量を行った後大型ごみについては破碎処理後焼却又焼却時に出る余熱を利用し発電を行いエネルギーの回収（熱回収）を行っています。発電は所内（同一敷地内に有るし尿処理施設の青岸汚泥再生処理センター・青岸ストックヤードを含む）で使用後、余剰分が有れば、電力会社へ送電しています。一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の自治事務で有り市民生活に直接影響の多い業務であります。 平成24年度から4箇年で、青岸エネルギーセンターの延命化とCO2削減による温暖化対策整備を兼ねた基幹改良を行った。 ごみ処理量に応じた焼却規模とするため、青岸クリーンセンターでは焼却炉を令和2年度中に休炉とし、令和2年度・令和3年度で整備を行いごみ中継施設としました。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	ごみ受入れ ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	ごみ受入れ ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	ごみ受入れ ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	ごみ受入れ ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	ごみ受入れ ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	1,208,260	1,155,931	1,189,804	1,111,148	1,134,280	1,044,653	954,325	0	954,325	0	
伸び率（%）	0.6%	2.7%	△1.5%	△3.9%	△4.7%	△6%	△15.9%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	97,373	95,199	92,997	92,519	78,424	86,413	85,095	0	85,095	
	正規職員以外	17,422	19,264	16,001	15,394	14,911	14,911	13,053	0	13,053	
	小計	114,795	114,463	108,998	107,913	93,335	101,324	98,148	0	98,148	
国庫支出金	0	0	0	297	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	56,200	53,000	3,300	2,400	0	0	0	0	
その他	617,503	640,784	644,677	613,037	658,346	607,986	558,909	0	558,909	0	
一般財源（税等）	590,757	515,147	488,927	444,814	472,634	434,267	395,416	0	395,416	0	
所要人数（人）	正規職員	12.09	11.82	11.68	11.62	10.11	11.14	10.97	0.00	10.97	0.00
	正規職員以外	6.12	7.18	6.12	5.84	6.50	6.50	5.69	0.00	5.69	0.00
主な予算内訳	消耗品費172,117（千円）・機械修繕料541,774（千円）・管理委託料284,915（千円）他										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
総搬入量（エネルギーセンター）		t	目標値					
			実績値	86,401	92,014	114,821		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
総搬入量（クリーンセンター）		t	目標値					
			実績値	35,403	25,226	7,583		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標	売電量（エネルギーセンター）	kWh	目標値					
			実績値	14,752,229	15,943,641	18,827,757		
	達成度(%)	%	%	%	%	%		
	売電量（クリーンセンター）	kWh	目標値					
実績値			2,602,344	1,980,017	0			
達成度(%)	%	%	%	%	%			

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の自治事務であるため、計画どおりに進める必要がある。
見直し・改善内容	青岸エネルギーセンターの焼却施設、発電設備等の適切な維持管理及び安定的な焼却処理、発電を維持する。 青岸クリーンセンターのごみ中継施設の適切な維持管理及び機能を維持する。